



平成20年3月期 中間決算説明会

平成19年 11月 15日
株式会社 バンテック・グループ・ホールディングス

-
-
1. 平成20年3月期 中間(連結)決算について … P 2
 2. 平成20年3月期 通期業績予想 … P14
 3. 全体の総括 … P15
 4. 参考資料 … P16

このプレゼンテーションに掲載しています当社及び当社グループの業績見通し、計画、方針、目標などのうち現在及び過去の事実でないものについては、将来に対する見通しであり、未知のリスク並びに不確定的要因を内在しております。

したがってこれらの情報については、実際の結果と大幅に異なる可能性がございますので、ご了承ください。

1. ①当中間期及び当期業績予想の前提条件



国内物流事業

主要取引先における生産台数の上半期の減産及び下半期の増産、合理化効果の下半期拡大

国際物流事業

日本発の航空輸出事業における前年度からの需要の低迷の影響は上半期継続するも下半期回復

⇒ 上半期減益・下半期増益、通期増益の当初予想(9月18日発表)

(単位:
百万円)

	平成20年3月期 上半期 (当中間)				平成20年3月期 下半期				平成20年3月期 通期			
	予想	前年実績	増減額	増減率(%)	予想	前年実績	増減額	増減率(%)	予想	前年実績	増減額	増減率(%)
売上高	80,000	70,415	9,585	13.6	85,000	80,692	4,308	5.3	165,000	151,107	13,893	9.2
営業利益	2,800	3,342	△542	△16.2	4,300	3,338	962	28.8	7,100	6,680	420	6.3
経常利益	2,900	3,650	△750	△20.5	4,500	3,596	904	25.1	7,400	7,246	154	2.1

1. ②平成20年3月期 中間(連結)業績の概要



	平成19年3月期 中間	平成20年3月期 中間				
	実績	実績	増減額	増減率	予想	予想との差
(単位:百万円)						
売上高	70,415	78,147	7,732	11.0%	80,000	Δ1,853
営業利益	3,342	2,802	Δ 540	Δ16.2%	2,800	2
経常利益	3,650	2,991	Δ 659	Δ18.1%	2,900	91
当期純利益	2,416	1,935	Δ 481	Δ19.9%	1,900	35

⇒ 中間予想に対しては、利益面で計画を達成

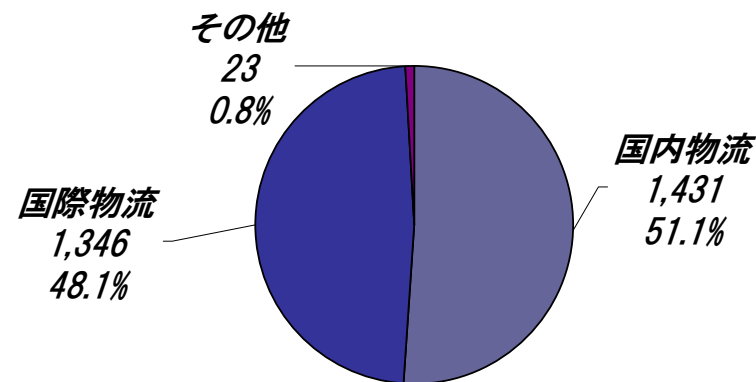
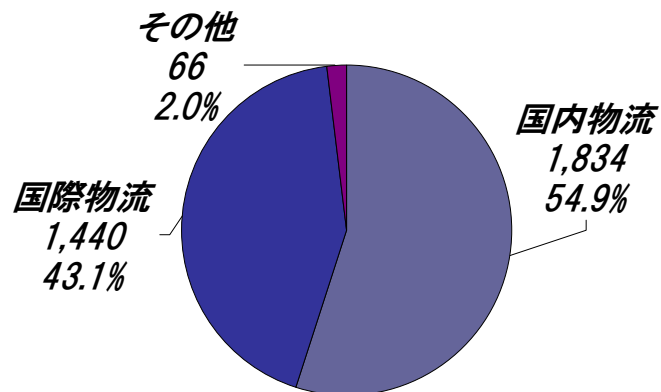
1. ③事業の種類別セグメントの概要



(単位: 百万円)	平成19年3月期 中間		平成20年3月期 中間					
	売上高	営業利益	売上高	増減額	増減率	営業利益	増減額	増減率
国内物流	38,057	1,834	45,264	7,207	18.9%	1,431	△403	△22.0%
国際物流	29,216	1,440	29,935	719	2.5%	1,346	△94	△6.5%
その他	3,141	66	2,946	△195	△6.2%	23	△43	△65.2%
計	70,415	3,342	78,147	7,732	11.0%	2,802	△540	△16.2%

平成19年3月期 上半期

平成20年3月期 上半期



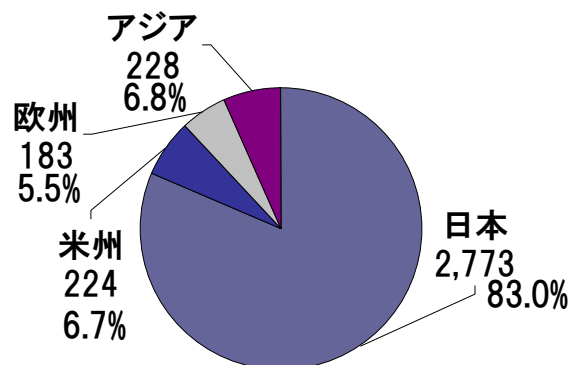
- 国内物流・・・子会社買収の効果、一方主要顧客の減産の影響
- 国際物流・・・海外子会社の伸長、一方日本発着航空貨物の低迷
- その他・・・引越・重量機工の大型案件の減少

1. ④所在地別セグメントの概要

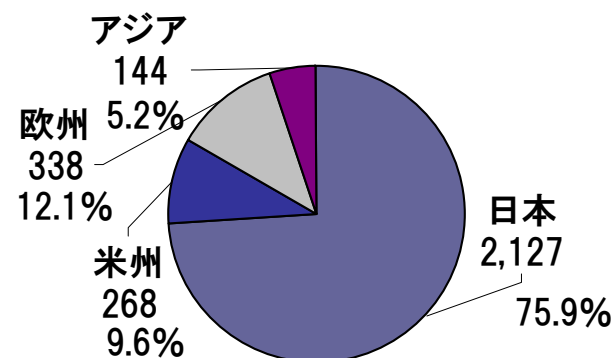


(単位: 百万円)	平成19年3月期 中間		平成20年3月期 中間					
	売上高	営業利益	売上高	増減額	増減率	営業利益	増減額	増減率
日本	58,518	2,773	64,177	5,659	9.7%	2,127	△646	△23.3%
米州	2,762	224	2,843	81	2.9%	268	44	19.6%
欧州	2,435	183	3,434	999	41.0%	338	155	84.7%
アジア	6,698	228	7,691	993	14.8%	144	△84	△36.8%
消去・全社	—	△68	—	—	—	△76	△8	—
計	70,415	3,342	78,147	7,732	11.0%	2,802	△540	△16.2%

平成19年3月期 上半期

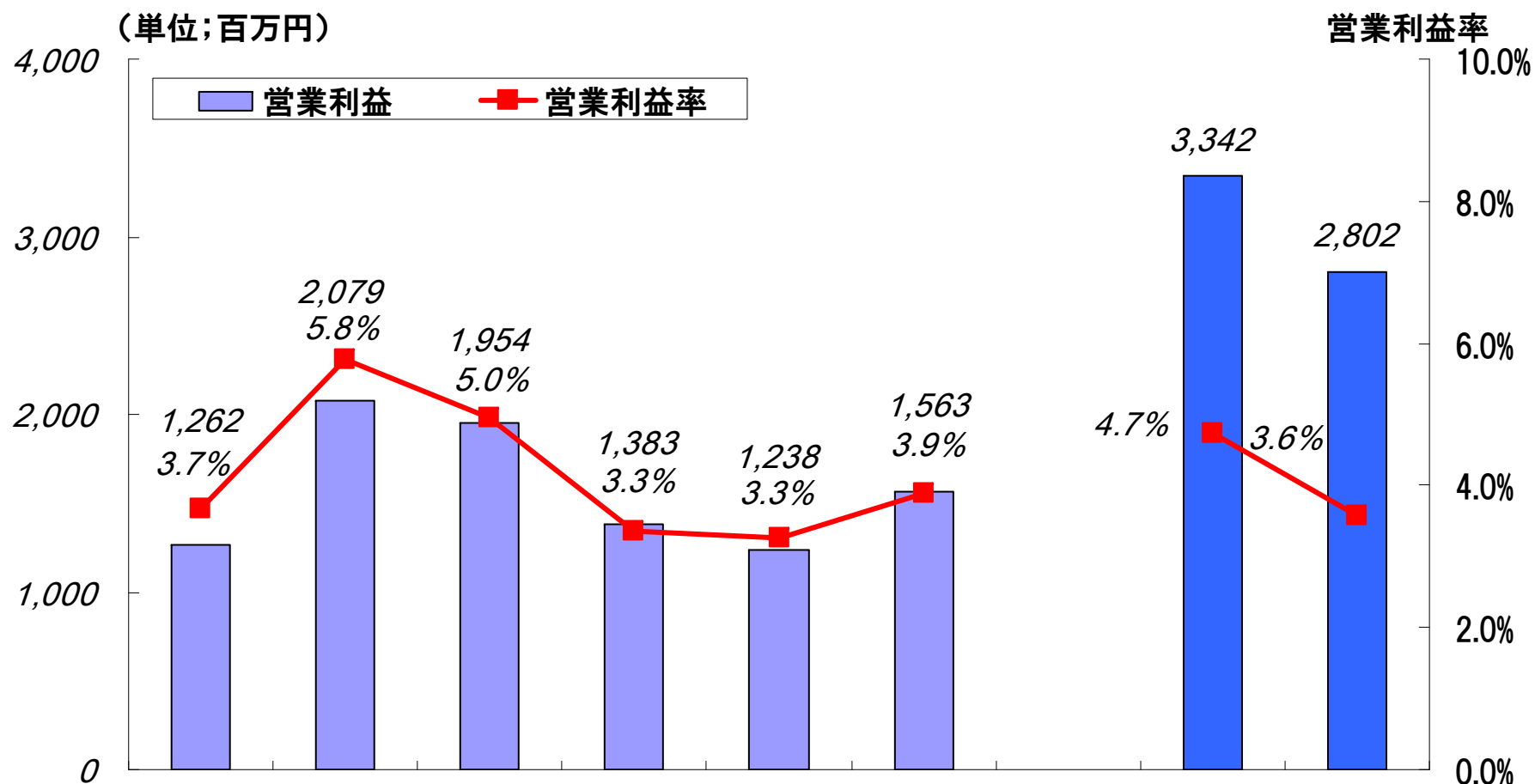


平成20年3月期 上半期



- 売上高は各地域で拡大
- 営業利益は、米州・欧州で増益、日本・アジアは減益

1. ⑤四半期推移



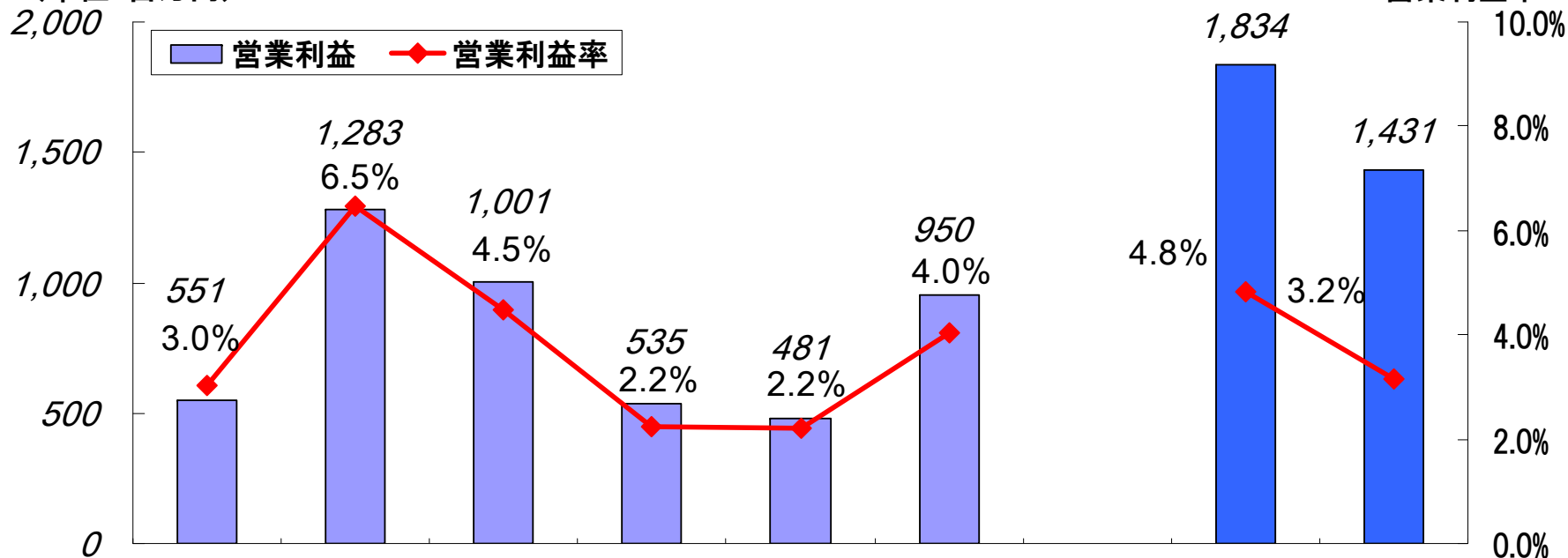
	平成19年3月期				平成20年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高(百万円)	34,361	36,054	39,399	41,292	37,967	40,180

平成19年 3月期中間	平成20年 3月期中間
70,415	78,147

1. 事業の種類別セグメント 国内物流事業の推移



(単位:百万円)



	平成19年3月期				平成20年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高(百万円)	18,197	19,860	22,397	24,030	21,661	23,603
日産生産台数	277,637	297,988	304,698	311,614	230,064	286,544
日産輸出台数	144,434	152,287	178,243	142,420	119,970	155,451

平成19年3月期中間	平成20年3月期中間
38,057	45,264
575,625	516,608
296,721	275,421

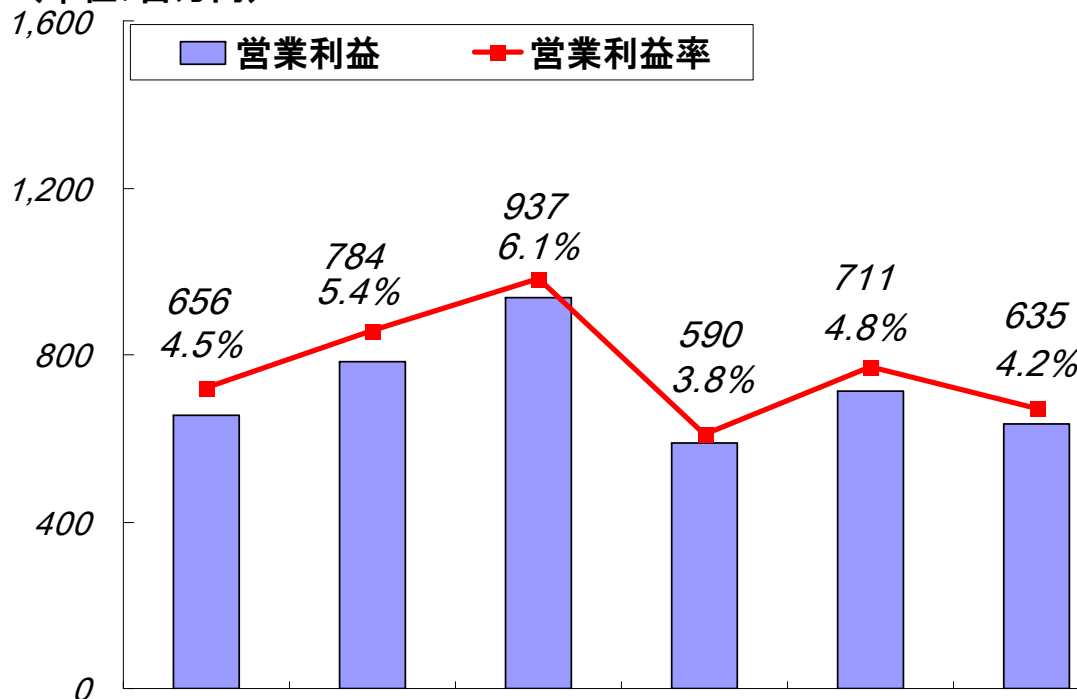
出典: 日本自動車工業会

- 子会社買収の効果、港運・梱包の伸長
- 主要顧客の自動車生産台数の減少による影響

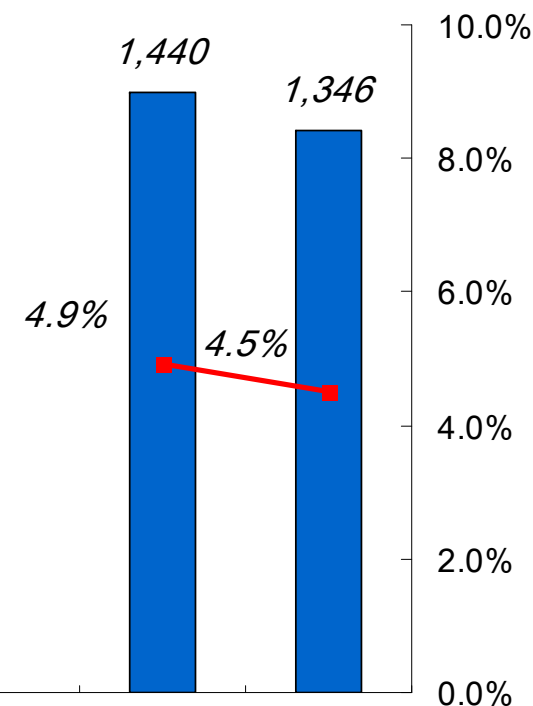
1. 事業の種類別セグメント 国際物流事業の推移



(単位;百万円)



営業利益率



	平成19年3月期				平成20年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高(百万円)	14,574	14,641	15,268	15,462	14,766	15,169

平成19年3月期中間	平成20年3月期中間
29,216	29,935

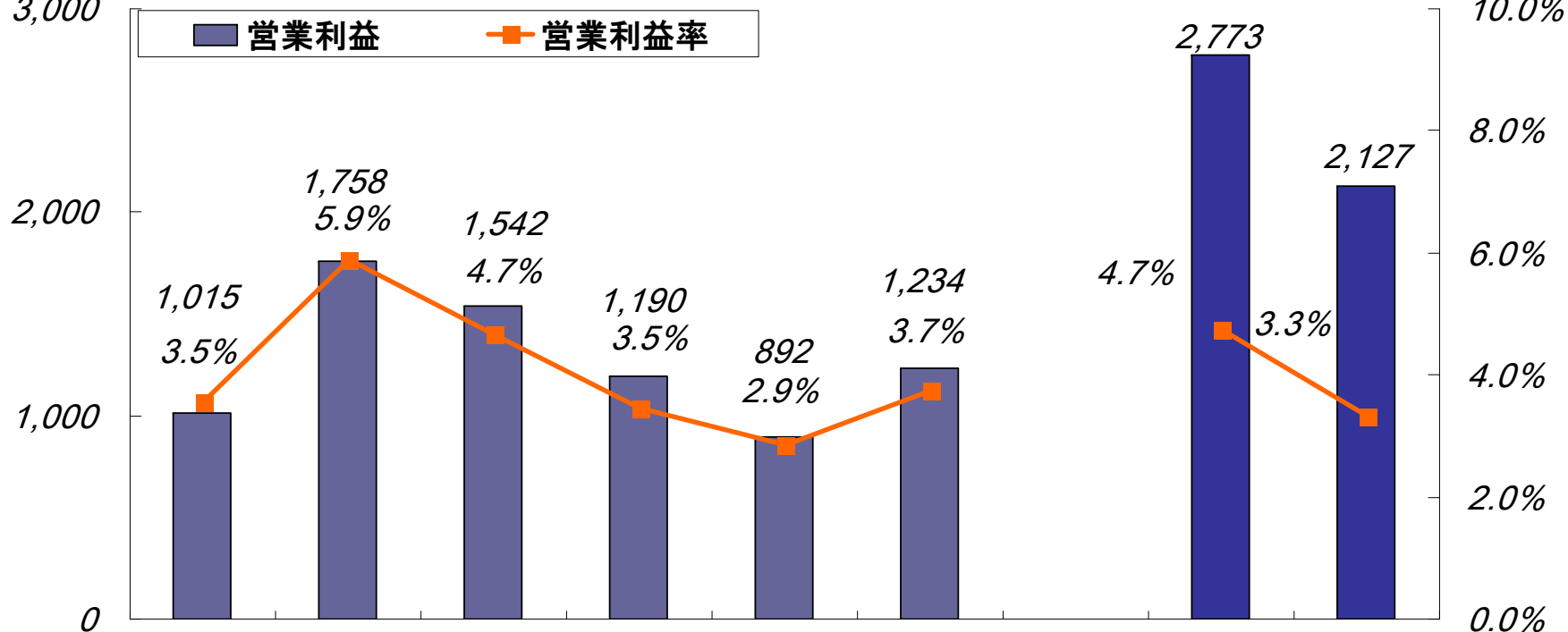
- 英国・タイ国等の海外子会社の伸長、新規設立子会社の業績への寄与(中国・広州)
- 日本発着の航空貨物は、マーケット全体の低迷による影響

1. 所在地別セグメント「日本」の推移



(単位:百万円)

3,000



	平成19年3月期				平成20年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高(百万円)	28,613	29,904	33,035	34,372	31,254	32,922

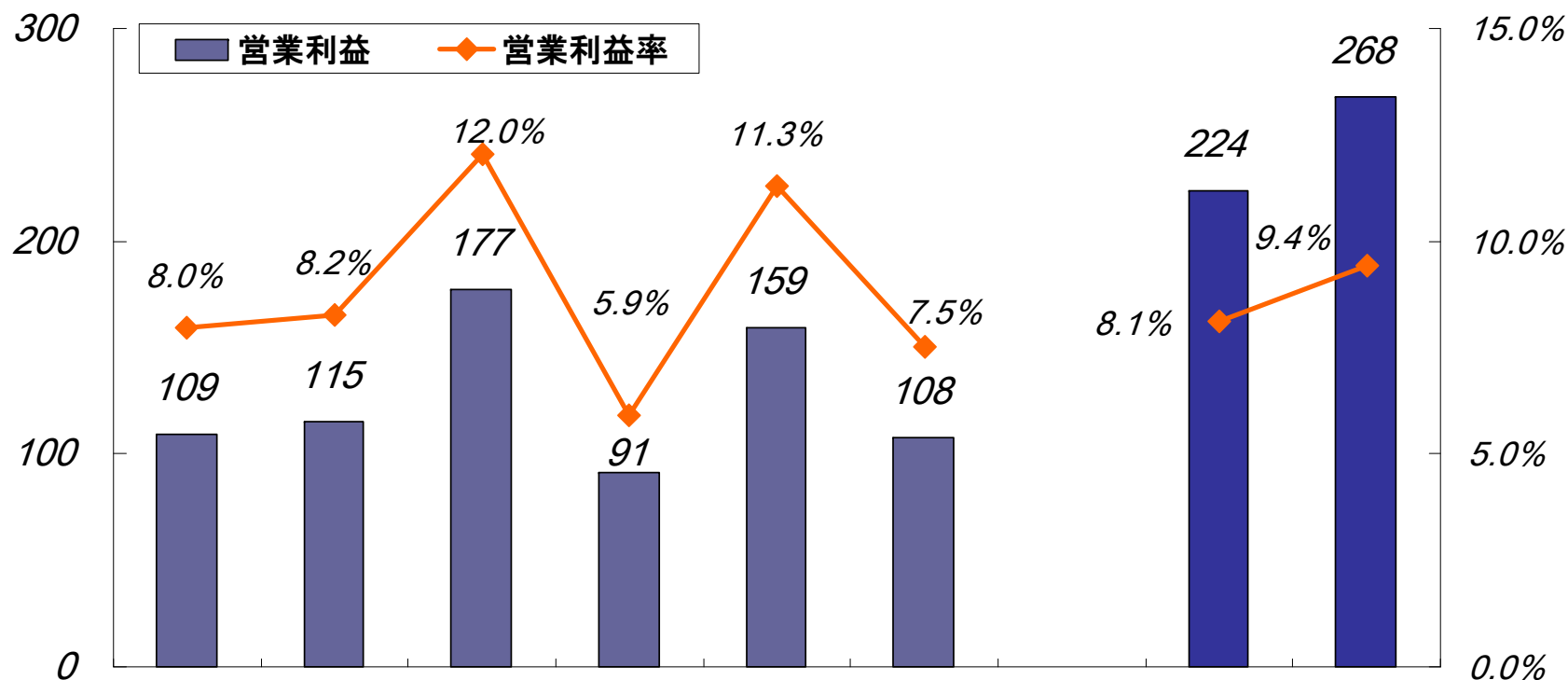
平成19年3月期中間	平成20年3月期中間
58,518	64,177

- 子会社買収の効果、港運・梱包の伸長
- 主要顧客の自動車生産台数の減少、日本発着の航空貨物の低迷による影響

1. 所在地別セグメント「米州」の推移



(単位:百万円)

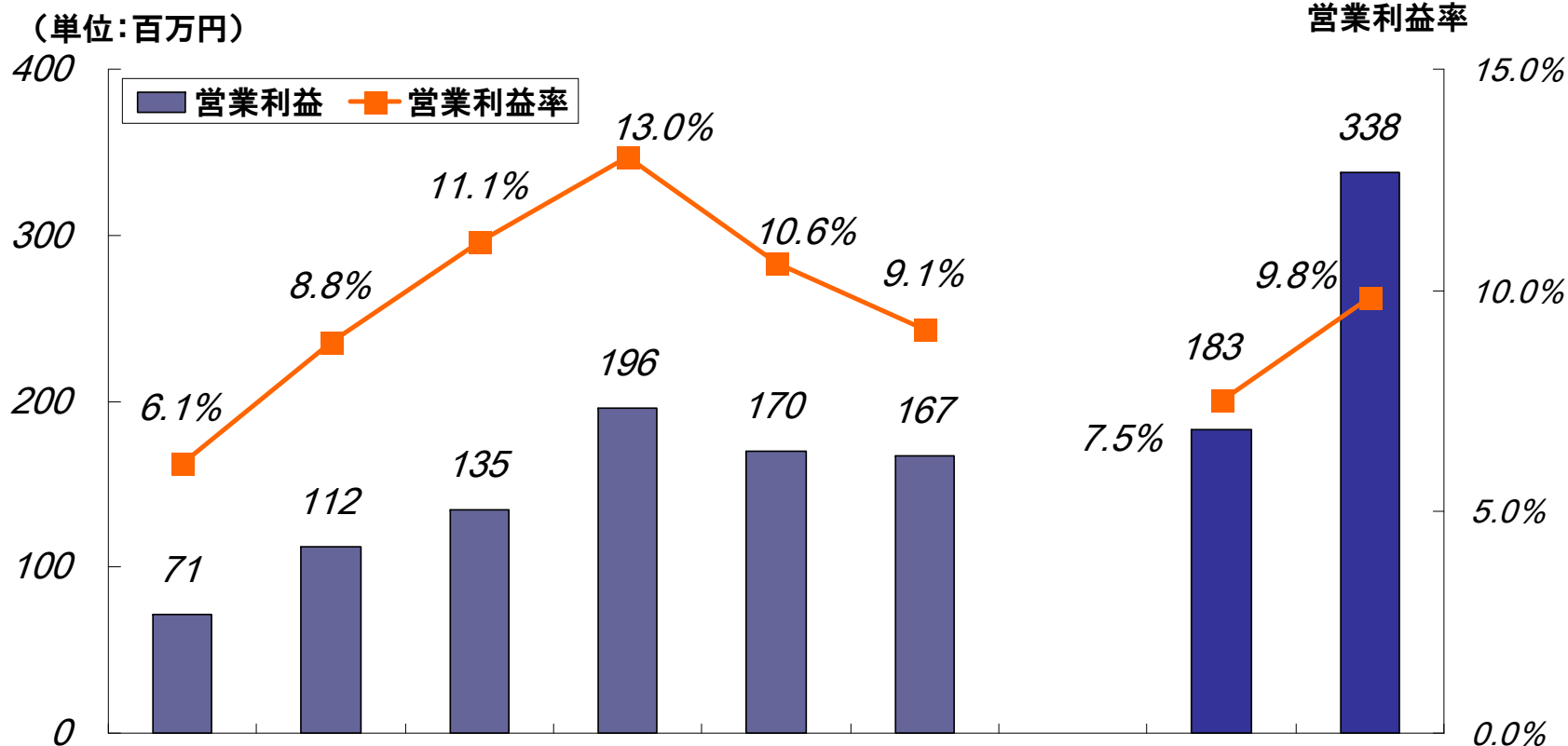


	平成19年3月期				平成20年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高(百万円)	1,367	1,394	1,469	1,537	1,408	1,435

営業利益	営業利益率
平成19年3月期中間	8.1%
平成20年3月期中間	9.4%

- 自動車関連等の航空輸入の伸び
- 航空機部品の航空輸出・飲料関連等の海上輸出は、前年並み

1. 所在地別セグメント「欧州」の推移



	平成19年3月期				平成20年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高(百万円)	1,166	1,269	1,216	1,505	1,602	1,832

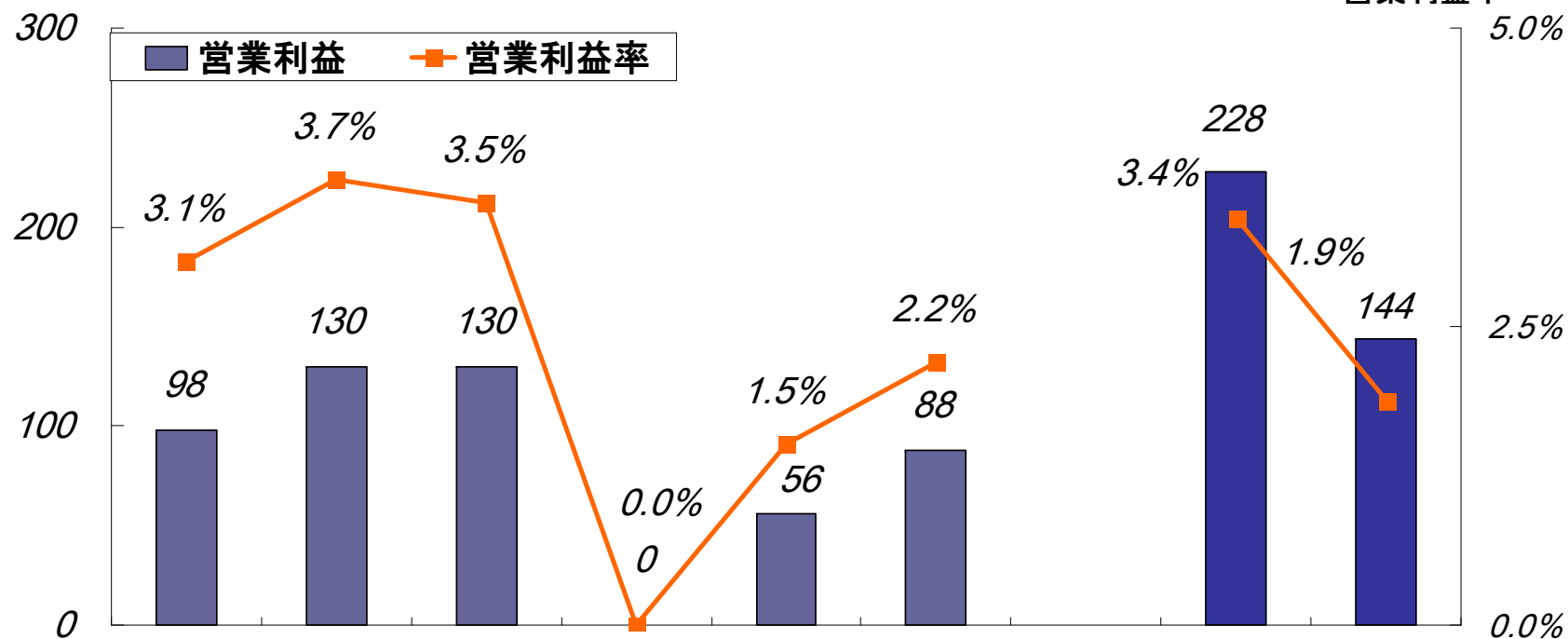
平成19年 3月期中間	平成20年 3月期中間
2,435	3,434

- 自動車製造先の新車種生産に伴う作業量の増加
- 輸出に係るフォワーディング業務の増加

1. 所在地別セグメント「アジア」の推移



(単位:百万円)



	平成19年3月期				平成20年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高(百万円)	3,213	3,485	3,678	3,876	3,702	3,989

平成19年 3月期中間	平成20年 3月期中間
6,698	7,691

- タイ国での自動車関連業務の拡大、新規設立子会社(中国・広州)の業績への寄与
- 新規業務受託に伴う初期費用の負担

1. 連結ベースのバランスシート



(単位:百万円)	平成18年3月末日	平成19年3月末日	平成19年9月末日
総資産	61,731	67,763	74,192
自己資本	12,178	16,304	23,941
有利子負債残高	17,424	19,641	18,619
自己資本比率	19.7 %	24.1 %	32.3 %
D/Eレシオ	1.4倍	1.2倍	0.8倍

※ 自己資本比率…(純資産-少数株主持分)/総資産、 D/Eレシオ…有利子負債/自己資本

2. 平成20年3月期 通期業績予想



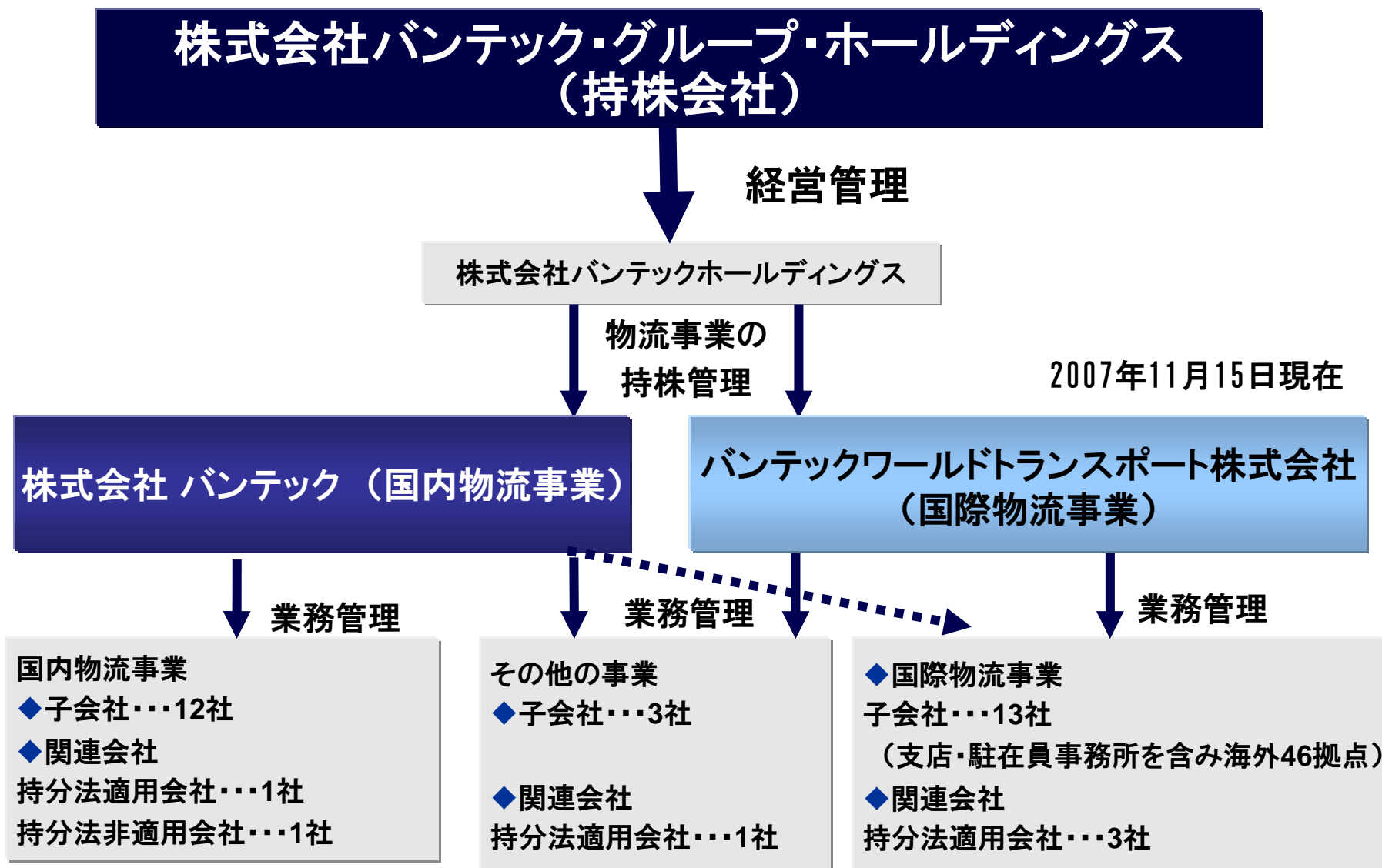
	平成19年3月期			平成20年3月期			対前年増減率	
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期 (予)	通期 (予)	下半期 (予)	通期 (予)
(単位:百万円)								
売上高	70,415	80,692	151,107	78,147	86,853	165,000	+7.6%	+9.2%
営業利益	3,342	3,338	6,680	2,802	4,298	7,100	+28.8%	+6.3%
経常利益	3,650	3,596	7,246	2,991	4,409	7,400	+22.6%	+2.1%
当期純利益	2,416	1,488	3,904	1,935	2,765	4,700	+85.8%	+20.4%

国内物流・・・主要顧客による増産効果
 国際物流・・・航空輸出貨物の回復

通期では、増収・増益の見込み

1. 平成20年3月期 上半期(中間)の業績について
2. 平成20年3月期 通期業績予想について
3. 来期以降について

4. 参考資料 ①グループ組織図



4. 参考資料 ②沿革



(株)バンテック (国内物流事業)

1954年1月 横浜輸送(株)として設立

コントラクト・ロジの進展

1997年10月 (株)バンテックに商号変更

2001年1月 MBOにより日産自動車(株)から独立

2002年4月 池田運輸(株)を買収 (部品物流の拡大)

2003年8月 セカンドMBO

2005年3月
株式交換により統合

=

特色を持った
グループの誕生



新しいダイメンジョンへ

2005年2月 バンテックワールドトランスポートへ商号変更

2004年12月 MBOにて東京急行電鉄(株)から独立

1976年6月 東急エアカーゴ(株)として設立

フォワーディングの融合

バンテック ワールドトランスポート(株) (国際物流事業)

4. 参考資料 ③統合後のM&A及び海外事業の展開



■ 事業統合(シナジーの追求)

- 05年7-9月 拠点統合(米国、オランダ)

■ M&A、事業譲受、資本参加

- 05年10月 (株)シーケー物流をカルソニックカンセイ(株)から買収(100%)
〔現(株)ロジメイト〕
- 06年 6月 (株)ゼクセルロジテック及びその子会社をバレオサーマルシステムズから買収(100%)
〔現(株)バンテックゼットロジ及び(株)VZ物流〕
- 06年12月 (株)先端情報工学研究所から営業権の一部を譲受
〔現(株)バンテック・RFソリューションズ及び(株)Liti R&D〕
- 06年12月 オートランスヨーロッパ(株)の株式をファーガソン・トランス・リミテッド、双日(株)から取得
〔現バンテックヨーロッパ(株)49%→100%子会社へ〕
- 07年 3月 ユーラシアスピードフォワーディング社(ハンガリー)の株式25%を伊藤忠(株)より取得

■ 拠点増設

- 06年 7月 広州バンテックワールドトランスポート
- 06年10月 ウィーン駐在員事務所
- 07年 7月 ハノイ駐在員事務所

4. 参考資料 ④今後の事業展開上の強み



ロジスティクス(国内・域内物流)、フォワーディング(国際物流)両面において、本邦有数のエキスパート集団を有する

自動車部品物流分野では、世界に通じるノウハウ・技能を有する

- これを活用すれば、日本市場での事業拡大可能
- 今後の成長性が高いグローバル市場への展開可能
- 関連事業分野への進出可能

4. 参考資料 ⑤特徴と強み/ネットワーキング



様々なネットワークの組み合わせが新しい付加価値を生む

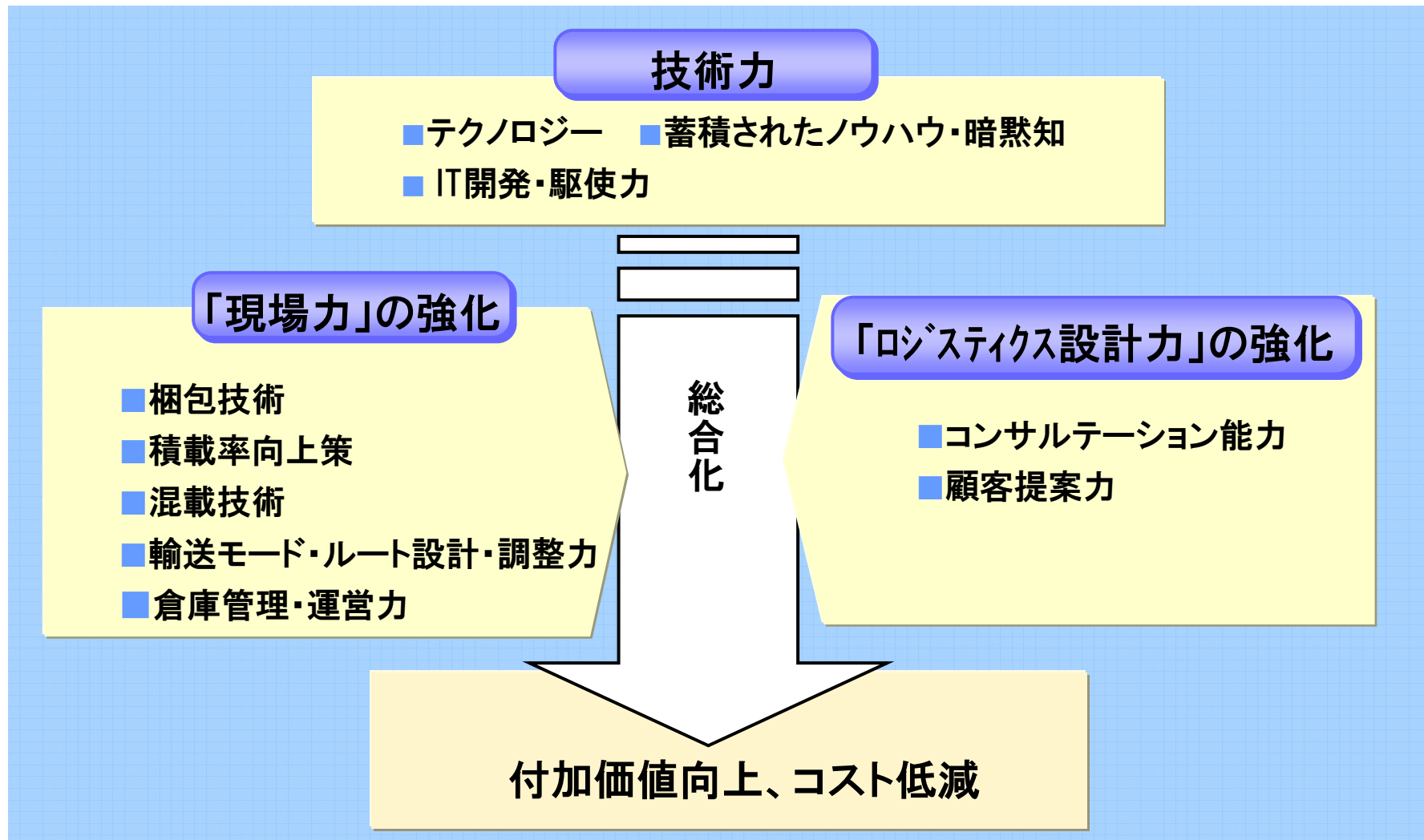
国内、国際拠点網

+

- 各種提携会社とのアライアンス・ネットワーク
- 陸・海・空の輸送モードのネットワーク
- 顧客企業とのネットワーク
- 協力企業とのネットワーク

- グローバルSCMニーズへの対応が可能
- 包括的な物流アウトソーシングの受注が可能
(コントラクト・ロジの進展)

4. 参考資料 ⑥特徴と強み/技術力



■コントラクト・ロジとフォワーディングの融合

コントラクト・ロジ
■自動車部品物流事業のネットワーク
■技術力

フォワーディング
■ルート確保力 (カーゴの確保力)
■海外現地の情報力

融合

グローバルJITの実現
(自動車部品物流の海外案件)

アジア案件の立ち上げ実績



上海(2006年4月、2007年5月)
日産サービス・パーツセンター
三菱自動車サービス・パーツセンター

武漢(2004年5月)
日産向けミルクラン、構内作業

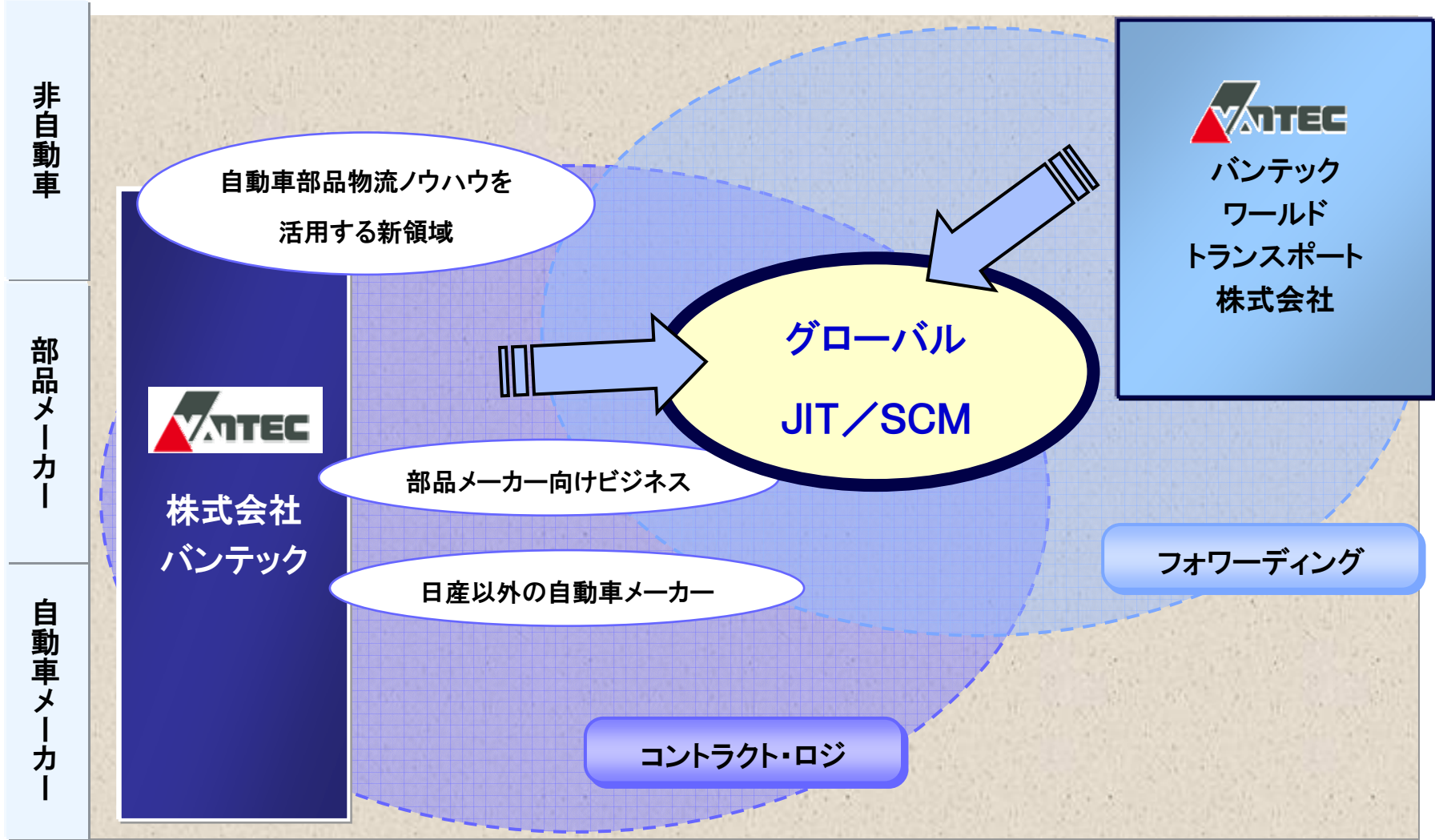
広州(2006年8月)
カルソニックカンセイ向けミルクラン、構内作業

タイ(2006年6月)
日産向けミルクラン
カルソニックカンセイ向けミルクラン、構内作業

4. 参考資料 ⑧成長戦略/新規ビジネスへの拡がり



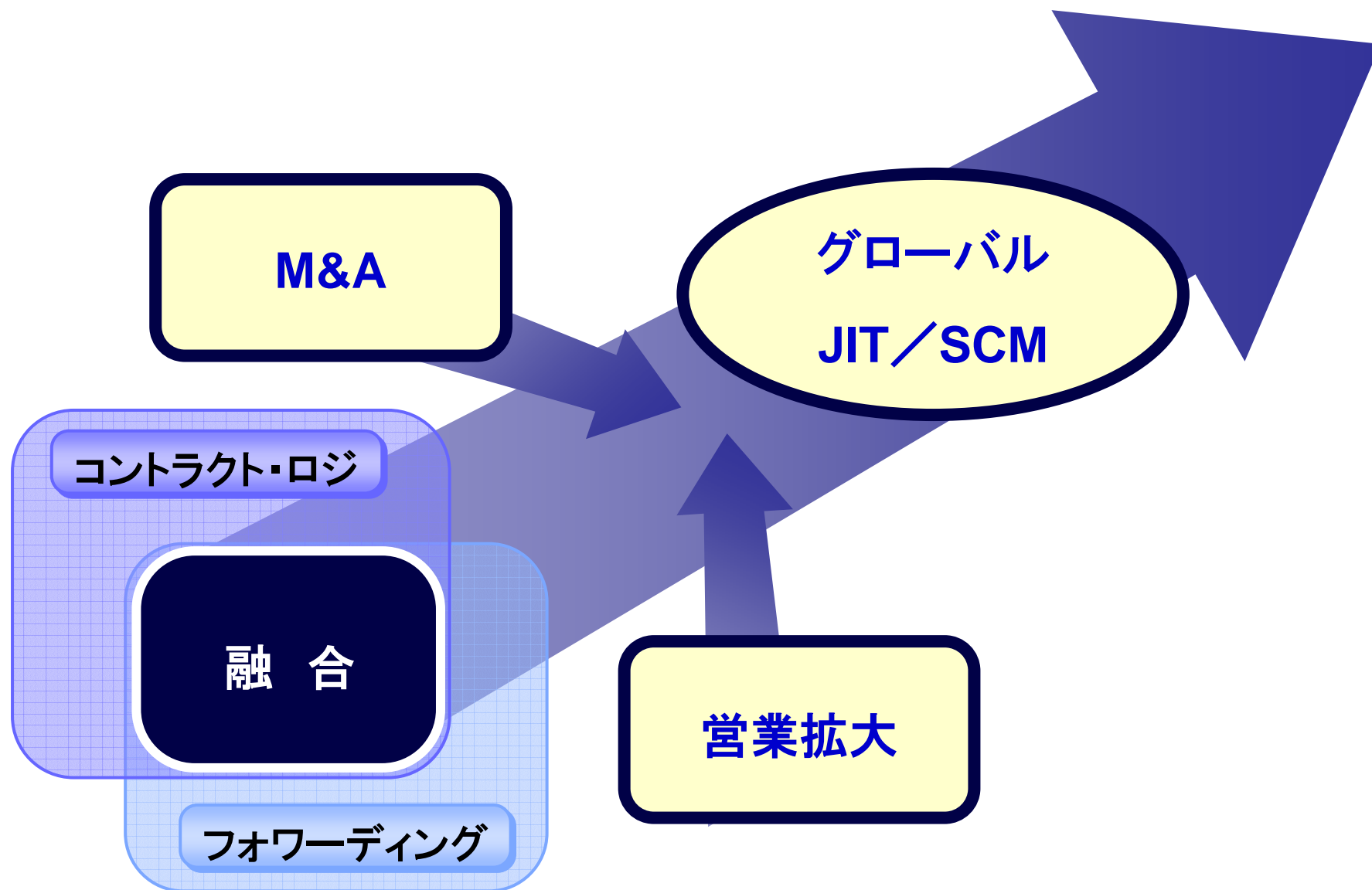
<顧客>



国内

国際

<地域>





問合せ先

担当部署： 経理財務部 IRグループ 045-410-0325